

STUDENT INTERVIEW

佐藤 愛 (2011年07月入学)

入学前の自分とは
まったく違う自分に出会える

JALCを選んだ理由

シドニーに来る前に日本で日本語教師養成講座の見学に行ったのですが、そこでの授業はいわゆる日本的な「受身の授業」で、常に自分自身で考え、そして考えたことを実践するという授業スタイルではありませんでした。そんな折にホームページでJALCの情報を調べた際に惹かれたのが「実践を重視し教壇力を養える」という点です。JALCなら自分が求める実践的でなおかつ文法などの知識も同時に養えると感じ、JALCを選びました。

授業内容について

毎日、クラスメイトが交代交代で模擬授業を行い、それに対して皆で意見交換をし合っています。すぐに先生が答えを教えてくれるという進行方法ではなく、時間をかけてでも受講生それぞれが「どうしたらその授業がもっとよくなるのか」を必死に考え、考えたことを授業内でどんどん実践していくスタイルであるため、卒業後すぐに実践的にいかせる内容になっていると思います。

日本語教師を目指そうと思った理由

ワーキングホリデーでオーストラリアに来ていた際、とてもたくさんの友達ができました。その際、それぞれの母国の話になったのですが、その時わたくしは日本のことがほとんど話せず、とても恥ずかしい思いをしました。そこでもっと自分の国を知りたい、そして日本のことを知ってそれを海外の人に伝えていきたいと思い日本語教師を目指しました。

オーストラリアで勉強してみて…

こちらで知り合った友達に日本語を教える練習ができたり、元々日本に興味があり少し日本語が話せる人と知り合うことができたり、本当に楽しかったです。日本では経験できない、日本語教師にとって大切なことがシドニーにはたくさんあるので、是非シドニーで受講することをオススメします！

オーストラリアを選んだ理由

英語環境で私も英語を学習することで、日本語学習者の方々の気持ちを少しでも理解できるのではと思ったからです。また、回りに外国人が多いということは、自分自身が日本語を教える練習をするチャンスでもあると思ったからです。実際にとってもたくさんの友達ができ日本語を教えてみましたが、皆口を揃えて「日本語面白い！」と言ってくれました。

卒業後の展望について

卒業後は母のいる韓国にすぐに行き、韓国で日本語教師をする予定でしたが、ふとJALCの校内掲示板にあったミャンマーの求人情報を見て「ここに行きたい！」と直感的に感じ、すぐに応募しました。そして今年の10月から採用していただけることになったので、卒業して一カ月後からミャンマーで日本語教師として働きます。JALCで培ったものを存分に活かして頑張ります！！

皆様へメッセージ

この三ヶ月の受講期間は（先輩達からも言い伝えられているように）本当にハードです！！ですが本当に濃厚な三ヶ月のため、あっという間に過ぎてしまいます。そして卒業したころには、入学前の自分とはまったく違う自分に出会えると思います。日本語教師としてだけでなく、人間としても成長できる三ヶ月になると思います。